



「わたしは、あなたがたに悟りを与え、行くべき道を教えよう。  
わたしはあなたがたに目を留めて、助言を与えよう。  
…主に信頼する者には、恵みが、その人を取り囲む。」

(詩篇32篇 8、10節)

新春の喜びを申し上げます。昨年、本当にいろいろとありがとうございました。東日本大震災という、日本を揺るがす痛みがあった1年、神さまは、私たちをも鍛え、また、深めてくださった1年であったと思います。新しい1年が、皆さまにとって、神さまの恵みの満ち満ちた1年でありますよう、心から祈ります。今年もどうぞ、よろしくお願いいたします。

チア・にっぽん代表 稲葉 寛夫

《今月の巻頭言》

- 1 成長! …………… P1~2
- 2 C&Hは実を結ぶ…………… P2

- 3 白馬セミナーレポート…………… P4~5
- 4 涙の訴え…………… P6~8
- 5 風物詩となった正月伝道…………… P8~10



キリストが希望・未来へ ~ ありのままに課題を分かち合って、あたたかい家族のように! (白馬セミナー2011より)

ハレルヤ! 皆さん、きっと良きクリスマス、良きお正月を過ごされたことと思います。白馬セミナー前後から、お正月まで、いろいろなことを神さまから教えられた気がします。少し、分かち合わせていただきますね。

成長!

郵便配達のおじさんが来たのに気づき、ジョセフ(3才3ヶ月)は喜んで我が家のドアを開け、「Thank you!」と大きな声で叫びました。既に郵便

箱から離れて隣の家に向かいかけていたおじさんは喜んで、「メリークリスマス!」と大声で応じました。アメリカでは最近、クリスチャン以外の力が強くなり、「メリークリスマス!」と言わなくなってきています。白馬の基調講演者、エリザベス・スミスさんを新宿のデパートに連れていったら、流れているクリスマスキャロルに感動し、「わ、日本では、『救い主、イエスさまが生まれた!』って、クリスマスソングが流れている!」とうれしそうでした。アメリカのデパートやTVのCMとかでは、無神論者やイスラム教やユダヤ教徒の人々に抵抗が無いよう



にと、「ハッピー ホリディズ！」とかに、急速に置き換えられています。

郵便局のおじさんは、我が家がクリスチャンであると知っているからでしょうか、うれしそうに、「メリークリスマス！」と答えました（この季節、我が家は、イエスさま降誕の星とかをライトアップして掲げていて、おじさんは、前に、それを喜んでいました）。ジョセフは、さらに大きな声で10メートルほど先のおじさんに、「メリークリスマス to ユー トゥー！」と、大きな声で、一丁前に応じていたので、おじさんは「Ha! Ha! Ha!」と大きな声で笑い、家の中にいた僕たちも、思わず、笑ってしまいました。成長がとてもうれしいです。

子育ては確かに大変、皆さんは偉い！

先日の白馬セミナーで、あるお母さんAさんが、「赤ちゃんの世話もあって、さらに、上の子たちの世話があるので、もう大変で...」と僕に話してくれました。僕は、心から「そうですよねー。大変ですよー」と応じました。Aさん、少し、ほっとされていました。それはただAさんに合わせたのではなく、その数週間前、実感していたからです。

その頃、妻の和紀子が外泊することとなり、僕がジョセフの世話をする日が4日ほどありました。日本に出張している時は、ジョセフと離れているのが残念で、1分でも早く会いたいと思っていますが、いざ会うと、かわいいと思って遊んでいるのは、最初の30分ぐらいです。もちろん、一緒に過ごしますが、いろいろな仕事の締め切りも気になり始めます。時差の疲れも出てきます。でも、がんばり、それなりに楽しんで、仕事と子育ての両立をめざしますが、夜8時ぐらいになる



ジョセフ（3才）、じゃのめ傘が大好き！

と、僕はベッドに倒れて、服を着たまま寝てしまうのでした。幸い、その後は、エミリがジョセフの世話をして、寝かしつけてくれます。

夜中は時差で起きて仕事をして、朝方、寝たと思ったら、朝6時には、ジョセフが「Can you play with me? (僕と一緒に遊ぼう!) You like going to the exercise park, right? (ダディは運動公園でエキササイズするのが好きでしょう?)」と起こしにきて、何とか、がんばって起きる、そんな日が続きました。

Aさんはじめ、ホームスクーリングマインドで、子どもたちを他人任せにせず、神さまの力を頼って育てていこうとされている皆さん方は、偉いと思います。そして、こうして共に歩めることを、とても感謝に、光栄に思っている次第です（ちなみに、その後、12月上旬にアメリカに戻った時は少し反省し、「この時間は、ジョセフと遊ぶのに専念、この時間は仕事」と、心の切り替えを明確にするよう努力したら、どちらももっと充実した気がしました）。

大局的に見て、チャーチ&  
ホームスクーリングムーブメントは実を結ぶ！  
— LAの無名の教会のクリスマス会より

いろいろと困難はあれど、長い目、広い目で見るとき、この、神さまの教育に立ち返っていくムーブメントは、忍耐強く取り組んでいけば、ますます実を結んでいくことだろうと、最近も思われています。我が家の集う教会にて、そのことを改めて示されました。今回のクリスマス礼拝、教会には、例年、来たことがないほどの人が押し寄せ、廊下にも椅子をぎっしり並べ、立ち見も入れない、600人以上の人々が訪れました。ちなみに、教会は、クリスチャン人口が極端に少ないと言われるロサンゼルス、しかもハリウッド近郊のエリアにあります。そして、牧師は、才能豊かな派手なタイプではなく、「農家のおじいさんみたいな感じがいいんだー」（ピバリーヒルズから長年通うリッチな紳士）といった木訥としたタイプ。

逆に、派手な教会は、最近、何度もロサンゼルスタイムズに嘲笑される記事が、取り上げられます。最近の記事では、70~80年代、「積極思考」やTV伝道等で注目を集めた、メガチャーチの元祖、クリスタルカセドラル（ガラスの教会）の破産、そして、競売先がカトリック教会となったことがほぼ1面を使って報じられました。ここは、シューラー牧師父子らの確執、内紛が起こり、最後に破産、競売に至りました。「積極思考で有名なシューラー牧師が今も、積極思考で考え、『一般の大学等ではなく、カトリックに用いられて良かった』と言っている」と皮肉られた大きな記事でした。また、よく取り上げられるのは、90年代、注目を集め、日本からもたくさんの牧師ツアー等が計画された、ロサンゼルスのあるメガチャーチ。ここも一昨年、破産の危機に瀕し、「年末まで、あと1億円献金が無いと破綻です！」



という緊急アピールが度々出され、連日、ロサンゼルスタイムズ紙を賑わせる、残念な状況になりました。

### 普通の人々&所から広がるムーブメント — 沈黙の時こそ…

つまり、ロサンゼルスでは、特定のメガ教会が伸びたとか、有能な牧師や、特別な教会成長の方法や神学が発見されたとか、そのお陰で福音が広がっているとは言えない状況です。むしろ、日常の平凡なところで、もっと大局の意味で、ロサンゼルスでのクリスチャン人口、あるいは霊的なムーブメントが、拡がり続けているようです。

実際、この1年もそうした場面を、私自身、直接、体験・取材し、驚く機会が多く与えられました。10数年で1万人もの大学へと倍増したクリスチャン系アズサ大学の教授に質問した時に、返ってきた分析、「とにかく、聖書に立つ教育の必要への目覚めが全米に広がっているから、学生数も伸びている」、ドジャースタジアムのフィールドに過去最高の決心者があふれたハーベストクルセード、また、参加者100万人のローズパレード、ロングビーチほかでの路傍伝道に心開く人々が増えている、…等、教会堂の中というよりは、日頃の生活の場面で、人々の魂の飢え渴きが深まっている現実と直面し、実感する場面が多いのです。

今回のクリスマスも、それを再確信させることになりました。既に、50年あまりたち、農家のおじいさんみたいと慕われながらの地味な牧師が主任をしている、無名の教会でも、そのことを実感したのです。クリスマスイブの説教者は、後継者役の若い牧師でした。「どんな状況でも、キリスト自身が希望そのもの。ほかのどのプレゼントも与えることのできない、『罪の赦し』という特別なプレゼント。馬小屋という特別な方法で与えられ、そして、そのキリストを分かち合っていくという、特別な使命と聖霊の力を伴うプレゼント！」とのメッセージが語られました。「旧約聖書の預言者たちが、救い主の誕生の預言をして数百年以上、何も起こらず、神さまが沈黙してしまっただけに見えた。でも、2000年前、突如、救い主が現れた。今の世も、神さまが沈黙しているように見えることもあるけれど、突如、神さまのご計画が目に見えて展開することもあるから、今の状況はどうあれ、十字架の上で、身代わりとなって罪の罰を受けてくれた、キリスト自身に希望をもち、このキリストの光を伝えるミッションに生きよう！」とのメッセージでした。

### 聖書で「恐れるな！」何百回も繰り返す理由

その数日前、同教会でのクリスマス特別礼拝で、長女のエミリ（14）が賛美チームの中で、バイオリンを弾くことになりました。著名なクリスチャンシンガーのトミー・ウォーカーのリードする賛美チー

ムです。トミー・ウォーカーは、同教会の賛美リーダーを20年以上務めています。彼が作った賛美は、日本でもたくさん訳され、最近も度々、日本に招かれ、多くの日本人が信仰の決心をすることになったそうです。今回は、エミリもいるし、また、神さまに心を向けきりたいと思い、土曜1回、日曜3回の計4回行われるクリスマス礼拝の内、3回と、最後の打ち上げの感謝会に参加しました。

各回、やはり600人以上、人があふれて礼拝堂に入らず、僕は、廊下でビデオ中継を見ながらの参加でした。何度もエミリが中継カメラでアップに撮られるので、親ばかとしては、喜んで大型スクリーンを観てました（笑）。

メッセージの後、頭を垂れ、キリストに希望を置く人々。場所は、ハリウッドに代表される退廃とアメリカンドリームを求めたビジネス、お金、名声、そして、最先端のライフスタイルを喜ぶ街、ロサンゼルス。でも、その行き着く先は、聖書であり、キリストであることの象徴とも思える場面でした。

### 神さまの命令に耳を傾ける幸せ (イザヤ48:17)

しかし、これはロサンゼルスのみならず、日本にも、世界にも、必ず流れていくと思いました。昨年、日本でも、聖書やキリストに心を開く、どれだけ多くの人々と出会ったことでしょうか。6度に渡って、チームで訪ねることになった大震災の被災者の皆さん、30年に一度だけ担当する高校の同窓会の全体企画の練習で再会した故郷の同窓生たちや各界の著名な先輩方、永田町の副大臣の皆さんや代議士の皆さん、また、夏の京都での路傍伝道で出会った皆さんや、六本木ヒルズや丸の内に集まる経営者の皆さんほか、多くの皆さんが、聖書にキリストに、心を開いてくださっていました。聖書が「わたしは、あなたの神、主である。わたしは、あなたに益になることを教え、あなたの歩むべき道にあなたを導く。あなたがわたしの命令に耳を傾けさえすれば、あなたのしあわせは川のように、あなたの正義は海の波のようになるであろうに。あなたの子孫は砂のように、あなたの身から出る者は、真砂のようになるであろうに」(イザヤ48:17-19)と教え、その本質に耳を傾ける人々が増やされているのだと思います。

### 神さまのハイウェイ (イザヤ49:11)

そうした中で、今の状況と聖書に立って、大局的に先見すると、日本も、世界も、この暗闇の時代の中で、ますます神さまを恐れ、また、キリストに希望を見いだす人々が起こされてくるであろうと思います。そして、そのキリストと聖書に立ち返って、他人任せではなく、聖書が命じる通り、親が中心となって教えて行こうとする、このチャーチ&ホームスクーリングムーブメントの方向性は進むべき道であり、もし、私たちが謙遜に、悔い改め、そして、



勇敢に信仰に立ち続けていくなれば、その志に立つ群れへの神さまからのあわれみと祝福がつきないであろうと、再確信する思いが与えられます。もちろん、目の前の細かいことでの悔い改めや軌道修正等は、多々あるにしても、本質的なところでは、揺れることなく、進んで行ければと、改めて思わされています。神さまが道ぞなえをしてくださり、「わたしは、わたしの山々をすべて道とし、わたしの大路を高くする」(イザヤ49:11)と約束してくれている通りです。

#### 白馬セミナーレポート！

- － ありのままに課題分かち合って、  
あたたかい家族のように！

お祈りいただきました白馬セミナー、無事、神さまの恵みとあわれみの中で祝福されて終わりました。今年は480名参加と昨年(400名)より多くの皆さんが参加、特に、お父さん方の参加が多かったのが最近の特徴です。この3年は、不況に加え、祝日がスケジュールに入らず、2日も休日を取らなければならない日程で、カレンダー的にも、参加は簡単ではない状況だったと思います。でも、こんなにお父さん(または働いているお母さん)の姿が多く、それだけで感動しました。

ティーン参加人数も年々増えてきて、去年は、LITの募集を途中で締め切ることとなりました。今年、LIT参加のための小論文等を実施するか、対象年齢を上げるなどして選抜LITと、ティーン対象のプログラムを特設する計画が必要かな、と感じ始めています。いずれにせよ、うれしい悲鳴です。

「(エリザベス・スミス) たくさんの方が正直に心を開き、いろいろな課題を分かち合い、質問してくれて、とても印象深かった！ パーフェクナ旅だった！」(ピリポ) たくさんの方が次々と来て、相談してくれた。多分、この10年で、一番多かったと思う。とても、感謝でした」といったコメント、多くの方からも聞きました。みんなでありのままに分かち合い、体験者の智恵を求め、そして、神さまや聖書の導きに従っていこうとする、そんなあたたかい家族的な雰囲気の中での励ましとチャレンジセミナーでした。皆さんの心のこもったコメント、アンケートが寄せられています。ぜひ、ご覧ください。(17～19ページ参照)

聖書を題材にし、会場に飾られた123枚の「第2回チア絵画コンクール」の展覧作品も、聖書からの感動を与え、「第4回読書感想文大会」の表彰式や、カーグランプリ、聖句書道の展示会と共に、励ましを与えました。これは毎年でもありますが、絵画と読書感想文については、11月初旬の審査期間中から、とても励まされました。絵画全作品は、白馬での展示期間中、若者たち数名が撮影してくれ、その後、堀井卓CSS校長がHPにアップしてくれました。

「(堀井) 改めてみると、1枚、1枚、力作ですね！」



雪がなくてもソリ滑り。お父さんもがんばる！  
(白馬セミナー2011)

「(稲葉) そうなんですよ。どんな気持ちで書いてくれたのかなーと思うと、とても励まされます。添えてくれた『描いた想い』を読むと、さらにポイントがアップしたりするんですよ」

賞を決定しなければならぬので、全体の作品、3回くらい見直します。各審査員も一生懸命ですが、すごく感謝なひとときです。ぜひ、HPをご覧ください。

感想文にも、どきりとさせられました(次号のNLより、少しずつ紹介していきますね)。

初めて行われた、無料&大幅ディスカウントブックマーケット、チア・HOPE(バスケット)、チア・フットサル(セイント)、チア・オリンピックらのブースも好評でした。また、慶応大学経済学部の赤林教授、大垣教授、青山学院・川島教授らの初の経済実験も、成功のうちに進み、教授陣からも、慶応の学生さん方や、実験参加者からも、感謝の声をいただきました。

#### 原点に立つ

白馬セミナーの開催中、私個人もいくつか質問を受け、とても深い関心を持ちました。

(1) 今春、中学の年齢ですが、ホームスクーリングを辞めて、普通の学校に行かせようかと悩んでいます。将来、プロをめざすかもしれない大好きなスポーツの部活をさせるためです。どうでしょう？

この質問や報告が白馬滞在中、3家庭ほどから重なり、びっくりしました。その中のBさんは、このように話してくれました。「(Bさん) 今回、白馬に来て、自分の子どもは今後を決めたいと言っていて、家族みんなで祈っています。僕の知り合いで、4家族、途中でホームスクーリングを辞めて、学校に戻した家族がいるんだけど、4家族とも後悔していますね。心配したり、警告されていた通りのことが起こってきて、いろいろな悪影響が出てきているとのことでした。でも、いろいろな事情で、そのまま学校に行かせておられます」(稲葉) では、その結果を知りつ



つ、なぜ、その方向も考えるのでしょうか?」「(Bさん) そうだけど、子どもの気持ちも考えて、…。今、本人自身が祈っているの、それに期待しているかな」

確かにいろんな事情あるのだと思います。でも、今こそ、「原点に帰る」ことの必要性を思いました。たとえ、状況が厳しく見えたり、不足があったり、あるいは、自分自身が不十分であっても。後述しますが、僕自身、間違いが多く、とても不十分さを感じています。でも、そこに目を留めず、悔い改めつつ、恵みとあわれみの神さまに目を向けて、前進するよう示され続けています。

### なぜ、チャーチ&ホームスクーリングなのか

我が家も、必ずしも、自分たちが良しと思った方向だけにはいかず、でも、「たとえそうでなくても」という姿勢で、ぶれずに進むように示されています。ということで、白馬セミナーの基調講演では、真祈

世界トップレベルのスポーツ界で飛翔するクリスチャンホームスクーラーたち！ 日本のチャーチ&ホームスクーラーたちからも誕生するでしょう!! こう、ご期待！

### NBA (全米プロバスケットボール) LAクリッパーズ 昨年のオールスター出場！ オリンピックチームUSA候補！ ブレーク グリフィン

高校までホームスクーリング。父や兄のコーチでバスケットを練習。オクラホマ大学時代には、全米年間最優秀選手にも選ばれ、2009年にドラフト1位でクリッパーズへ。その後、ケガで1年苦しむが、昨年は、大活躍。ルーキーで史上2人めとなるオールスターにも選抜され、今シーズン、優勝候補、クリッパーズの中心として活躍中！



### フィギュアスケーター、グランプリ・ファイナル優勝！ アリッサ・シズニー

日本でもファンが多いアリッサ(写真中央)は、ずっとホームスクーリングで育った。2009年、2011年全米選手権優勝。2010年グランプリ・ファイナル優勝、スケートカナダ優勝。コーチ、振付師は、佐藤有香(世界選手権優勝、父、信夫は浅田真央のコーチ)。2011年グランプリ・ファイナルで練習中、左足を負傷。今シーズンに再起をかける。



1才半からスケートを始めた。ティーン時代にかけて、母は毎週1500キロを運転して、スケート教室に通った。彼女を個人的に知る、あるチアのホームスクーラーによると、まっすぐな信仰を持ったクリスチャン！

史を事例に話しました。今回、巻頭言用にまとめたのですが、字数が2万5千字になってしまい、1万字カットの必要が出たため、その部分、今回は、ぱっさり、カットせざるを得ませんでした。後ほど、導かれたら、再び書きます。ご関心ある方は、基調講演のCDでお聴きください。

ポイントは、私自身、日頃の子育てを通して、ダニエル書3章の「たとえそうでなくても」神さまの約束を握り続けることを示されているということです。火の燃える炉に落とされるか、ネブカデネザル王を拜むか、迫られたシャデルラク、メシャク、アベデ・ネゴらのネブカデネザル王への答えです。「私たちの仕える神は、火の燃える炉から私たちを救い出すことができます。…しかし、もしそうでなくても、…」(ダニエル 3:17, 18)

質問のあったホームスクーリングの継続に悩む、数家族の皆さんに限らず、困難が生じて、思い通り行かないことがあっても、イエスさまを呼び、原点に立ち帰り、信じて、従い続けていきたいと思います、分かち合いました。

なぜ、ホームスクーリングなのか。神さまは我らにどのようなことを教育せよと命じているのか、そのことに立ち帰ろう！ 神さまは学校や国任せにせよとは言わず、「親」に委ねた、そして、そんな親を助ける祖父母、クリスチャンたち、教会に使命を与えた、その原点に立ち帰ろうと、伝えました。もちろん、ご主人が反対しているとか、いろいろな理由があって、「週2時間からのチャーチ&ホームスクーリング」は仕方ない場合もあると思います。そこから積み重ねていく道もあると思います。

でも、もし、神さまの恵みの中で、ご夫妻とも、導かれて決心されたのであれば、ここは、その恵みと特権に踏みとどまって、原点に、神さまに目を向けて、…子どもにも、状況にも振り回されないで、…と話しました。「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。…これをあなたの子どもたちによく教え込みなさい。あなたが家にすわっているときも、道を歩くときも、寝るときも、起きるときも、これを唱えなさい。(申命記 6:5, 7)」と、聖書で神さまが命じている通り、大局を見て従っていきましょう。「天国」と「地獄」、「キリストの弟子のころ」といった魂の行方がかかっている、神さまの命令に応じられるのですから。幸い、Bさんが最終日に僕のところに来て、祈っていた子どもさんが、「ホームスクーリングの継続を明確に示された、と話しにきた」と伝えてくれました。ハレルヤ！

ほかのご家族の皆さんからは、まだ報告を受けていないですが、神さまの特別な守りと祝福を祈っています。もちろん、いろいろな神さまの導きもあると思うので、「形より本質」で、チアとしては、どのようなスタイルであっても、全力で応援します。でも、この神さまの教育命令に従う特権と恵みを、簡単に手放さず、困難があっても、失敗があっても、一緒に、乗り越えていきましょうと、心から祈って



います。

### マジック年齢は無し！

「13才を過ぎたので、大人として扱ってます。その点についてはどう思いますか」といった点について、数家族から聞かれました。丁度、エリザベスさんと食事をしている時にも出てきて、エリザベスさん曰く、「懲らしめが必要なくなる、マジック年齢はありません。聖書には、13才とか、16才以上は、懲らしめの必要のない大人と見なすといった記述は、ありません。年齢に関わらず、ティーンであっても、愛のムチが必要な時は、冷静に、聖書的に、愛のムチを用い、よく懲らし、聖書的な教育を果たす必要があるでしょう。特にティーンとの関係でいうならば、とにかく彼らの言うことを良く聞き、時間を費やし、ますます、きずなを深めていくことが大事でしょう。でも必要がある場合は、本人の意志と違っても、親の懲らしめや、矯正、指導は、何歳でも、必要でしょう」。アーメンと思います。聖書が次のように教えるとおりで、「愚かさは子どもの心につながれている。懲らしめの杖がこれを断ち切る（箴言22：15）」「子どもを懲らすことを差し控えてはならない。むちで打つても、彼は死ぬことはない。あなたがむちで彼を打つなら、彼のいのちをよみから救うことができる（箴言23：13、14）」。自分もおろかとは思いますが、子どもたちは、ティーンになっても、親の知恵や聖書からの指導が必要です。

特に、ティーンとは、びくびく恐れることなく、むしろ、ますます深いコミュニケーションを、正面からとっていくこと、その必要を示されます。いろいろな主張が出てくることは、成長の印でもあり、いいことでもあると思います。しかし、子ども自身が選ぼうとしていることで、親がリスクを感じるものがあれば、反対を恐れたり、ティーンになったからと奔放にさせず、聖書に示される通り、親として、がっぷり組んで納得するまで話し合ったり、考えたり、懲らしめたりすること、その恵みが、どれだけ大きいかを思います。

この点についても、去年、エミリとの関係において、痛切な体験があり、神さまから教えられたことがあったので、以下、分かち合います。

### 涙の訴え

時は、昨年9月。場所は、第6回チア東北ボランティアの帰りのバスの中で、仙台から東京に向かう途中、丸森町に立ち寄る道中でした。エミリは、約2時間、泣きながら僕に訴え、最後は、僕もエミリに謝り、また、エミリも、僕だけでなく、周囲で、忍耐して聞いてくれていた皆さんに謝って、、、ということがありました。

昨夏の1ヶ月、エミリと僕は、2人で、日本の夏のミッションを行っていました。いつもは真祈史と一緒にですが、今回、真祈史は大学に向かったので、

初めての2人旅です。8月上旬、猛暑の中での映画「アメイジング・グレイス」試写会の交渉から始まり、京都の路傍伝道→東京→弘前→仙台→小樽→富士山麓英語キャンプ→東北ボランティアと強行スケジュールが続きました。エミリは、ロサンゼルスでの、ハードなキャンプ等の連続後の日本入りで、途中、体調を崩し、ずっと咳き込んでいました。でもどの企画も祝福され、大喜びでした。

特に、京都での路傍伝道での丸森チームのティーンたちとの再会は、大喜びであり、また、アメリカから公募した4人のホームスクーラーたちとの出会い、「生涯の親友たちを得た！」と本人が言うほど、恵まれたものでした。弘前、小樽の祖父母訪問も良かったし、「富士山麓英語キャンプ」では、初めて、子どもたちを教える立場になり、とても喜んでいました。また、第6回ボランティアで、初めて見た被災地では、言葉を失いつつ、心を込めて作業に取り組んでいました。釜石、陸前高田での物資のサポートでは、ほとんどの人々が彼女たちが渡す聖書やパンフレットを喜んで受け取ってくれました。何人かの被災者の方々は、座り込んで、当時の様子を熱心に話し、津波の恐ろしさや感じたことを、教えてくれました。途中、国際飢餓対策機構の皆さんにお世話になり、物資の再補給を行い、また、今回は、1泊させてもらったサマリタンズパースの人々からの初めての依頼で、気仙沼で、消毒、消臭用のバクテリア剤の散布や、救援用のテントの後片付けや、雑草取りを暑さの中で、汗を流しながら行いました。そして、4度目になった仙台市若林区での物資の補給時には、泥かきや泥にまみれた事務所の掃除を依頼され、皆、ホコリと泥まみれになって取り組みました。そして、最終日は、小雨の中、仙台市近郊で、福音のパンフレット配りと、がんばりました。最後、次回用に、献品された服等を整理し、全てが順調に進んだバスの中でのことです。

「(能登) エミリ、昨日の夜、すごくいい証ししたんだってね。私にも是非、聞かせてー」。

最終日の前夜、多くのメンバーは初めての夕食とお風呂に出かけました。でも、体調不良の数人等は、宿泊所のワインスタジオ(仙台)に残りました。女性チームは数人で証し会をし、その後、お風呂から帰ったチームとの第二回への証し会へと盛り上がったのだそうです。そこでのエミリの証が良かったと能登麻里さんにも伝わったのでした。バスは毎回、くじ引きで席を決めていましたが、くじの結果、前方はエミリを囲むようにして、大人グループの席になっていました。

「(エミリ) うーん、、、」

「(能登) もしよければ、マイクでみんなに話してー」

「(スミスさん) うーん。いろいろとプライベートな話しも出てくるから、これは、まず、このあたりで、そっとの方がいいかな」

「(能登) なるほど。では、このあたりでそっと話して」



「(エミリ) 了解。でも、一つ条件があるの。ダディは、この証しを聞いた後、絶対、否定したり、あれこれ、論評したりしないでね」

「(稲葉) わかった」

エミリは、そこで、ここ数年の自分と神さまとの関係の証しを始めました。

「(エミリ) …最初、私が育まれた大好きな教会の友達と別れることは、とても残念で辛いことでした。でも、次に導かれた教会では、前にも増して、たくさんの素晴らしいクリスチャンの友達と与えられ、とても感謝でした。でも、最近、その中の友達の1人が自殺してしまい、深いショックを受けました。そして、さらに友達の1人が、もう自分は無神論者になったと言って、私たちから離れていき、私は本当に苦しみました。自分は、2人に何にもできなかったと…。でも、神さまは、それでも愛しているよって、導いてくれてるとわかります。今回、また、たくさんの出来事や友人と与えてくれたのも、神さまの励ましの一つだと思います」

切々としたエミリの証しは、20分ほどして終わりました。

「(能登) エミリ、ありがとう。すごい、良かった。励まされた！」

「(稲葉) エミリ、ありがとう！ 良かったよ。エミリ、ところで、僕から、少し、情報を加えてもいいかな。否定でも、評論でもないよ。ただ、誤解を避けるために、少し、情報を加えるよ…」

と、証しの前半部分にあった、真祈史の情報について、少し加えました。するとエミリが急に泣き出し、抗議し始めました。

「(エミリ) ダディは約束を破った。何も言わないはずだった。だから、私はダディの前で話したくなかった」

「(稲葉) 否定しないと約束したよ。今、話したのは、否定ではなく、誤解を避けるため、ダディからの情報を補っただけだよ」

「(エミリ) ダディは約束を破ったんだ。私はダディに励ましてほしかったのに、ダディは、私の証しを直そうとするだけで、…、いつでも真祈史、真祈史って、…」

「(稲葉) そうじゃないよ。必要な情報を足したただけだよ」

バスの前列の6人ぐらいの大人の席に、緊張感と、張り詰めた空気が流れました。エミリは嗚咽と共に訴え続けます。

「(エミリ) 私はダディには励ましてほしかったんだ。友達が自殺して、別の友達はリストカットして、神さまは信じないと言ってるし、私はクリスチャンだけど、本当に辛かったし、今も辛い。ダディには、そんな私を励ましてほしかったのに、ダディは、約束破って、私の証しを直そうとした」

「(稲葉) それは本当に大変な体験をしたね。とてもショッキングだし、ダディは、全然、知らなかったよ。でも、ダディは約束破ってないよ。エミリの証しがどうこうではなく、ただ、真祈史の情報で足



エミリ(左)、トミー・ウォーカー(右)のクリスマス賛美チームで演奏。トミーの曲は、「He Knows My Name」「Only A God Like You」ほか、多数、日本語訳されている。恵みのクリスマスでした！

りないところを足しただけだよ」

それから約1時間、このようなやり取りが、続きました。

「(スミス) エミリちゃん、昨日よりも、さらにいい証しだったよ。ただ、稲葉さんは、証しを直そうとしたのではなくて、父親として、必要な情報を足そうとしたただけだと私も思ったよ」

「(エミリ、少しほっとして、うなずく)」

「(堀井卓) でも、ここまで、ストレートに思ったことを話し合える関係ってすごい」

「(能登) そうね。普通、あきらめて、止めたりするよ。ここまで正直に思いを話さずに、稲葉さん、これはすごいことだと思う。すごい関係が与えられていると思う。エミリ、本当に良かったよ」

「(エミリ、さらにうなずく)」

「(堀井洋二) ティーンという時代に、このようにざっくばらんに話せる関係は素晴らしいよ。自分も反省しながら、聞いてたよ。稲葉さんのところでも、スムーズじゃないところに出会って、何か、一層、身近に感じるし。良かったよ」

周りの皆さんは温かく、受けとめてくれていました。そのまま、バスは丸森に到着しました。被災地用の服等を片付ける作業をしながらも、僕の心はとても重くなっていました。

エミリは、再会を楽しみにしていた丸森の友だちや、8月に数日、ベビーシッターをしたノリ(マタイ)・愛子夫妻やジャシュアたちの子どもたちと別れを惜しみ、バスに乗りました。

「(エミリ) ダディ、私は、(ティーンたちがいる)後ろの席に移動していい？」

「(稲葉) いいよ。だけど、その前に、話しを聞いてたスミスさんや麻里さんや、堀井さんたちに、謝るんだよ。まず、みんなに嫌な思いをさせたよ。それから、エミリの僕に対する態度は反抗的だったよ」

「(エミリ) それは、わかる。確かに私の態度も悪かったし、皆さんに申し訳なかった。だけど、ダディも、みんなに謝るべきだ。ダディの一言のお陰で、



楽しかった全てが、台無しになった。さっきまで人生で最高の夏休みだったのに、最悪の夏休みになった。丸森のみんなとの再会や、ジュリアンナたち（ノリさんの子ども）と、もう一度会って、別れることを私はどれだけ楽しみにしていたことか、。ダディにはわからないでしょう。それが、こんな泣いた後で、こんな悲しい思いの中で、会うことになった。でもようやく会えた一と思って、こんにちわって言って、さあ、話そうと思ったら、ダディは、さ、東京に出発するよって、すぐに別れさせた。今日、会えること、どれだけ楽しみにしてきたことか、。ダディは、全部、だめにした」

「(稲葉) 僕がみんなに謝ることは簡単だ。だけど、ダディは、なぜ自分が謝る必要があるのか、まだ自分で納得してないよ。ここで聞いてた4人の大人たちは、みんなダディの仲の良い友達だよ。心から謝罪する気持ちなく、ポーズだけ謝っても意味がないでしょう。エミリにも、なぜ、ダディが謝るのか、僕は、まだ論理的に納得してないよ」

「(エミリ) ダディは人の気持ちがわかっていない。ダディが、もし、情報不足必要あるのだったら、後で、私がいなくて足せば良かったでしょう。私は、この話しは、あまり話してこなかったし、話したくなかった特別な話だった。だけど、昨日と今日は話した。私は、本当に辛かったし、今も辛い。友達が自殺してもう生きてないし、もう一人は、無神論になったと言っている。彼女たちのことを思うと、本当に辛い。ダディには、励ましてほしかった。本当に励ましてほしかった。でも、ダディは、私を励ますのではなくて、真祈史は、真祈史はって、話しをし始めた。ダディは、人の気持ちがわからない。だから、マミィも傷ついたり、怒ったりするんだ」

「(稲葉) そうかー。それは確かに、ダディのタイミング、悪かったね。『すべてのことに時がある』だね。それはごめん。悪かった。でも、エミリも謝る必要があるよ。ダディへの態度で反抗的なところもあったし、怒ったし」

「(エミリ) それは私もわかってる。皆さん、ごめんなさい。ダディ、I am sorry」

「(稲葉) 皆さん、心配かけてすみませんでした。エミリ、ごめん。確かに、エミリの気持ち、十分、考えてなかったね」

ダディに励まして、もらいたかったんだ！

足かけ2時間、エミリは泣いて抗議を続けたのでした。でも、この間、意外だったのは、「私はダディに励ましてほしかったのに！」という訴えを、文字通り、何十回と繰り返したことでした。エミリは小さい頃は、『ダディっ子』と和紀子が呼んで、ちょっとすねるほど、僕を慕っていました。でもいつしか、成長するにつれ、和紀子との時間が増え、僕は少し距離を感じるようになりました。たとえば、彼女は、送り迎えを、僕ではなく、和紀子に頼みたがります。所属しているオーケストラの練習とか、バイオリン

教室とか、教会のユースとか、毎日のように外に出るのですが、僕が迎えに行こうとすると「やだ。マミーが良かったのに」と言って嫌がり、怒るようになってました。真祈史やジョセフとは、僕は、ますます近くなってる気がしましたが、エミリとは逆方向で、「ま、女の子だし、ティーンになって、しょうがないのかなー」と思ったりしました。その意味で、今回過ごした1ヶ月は貴重でもありました。でも、そんな中で、「私はダディに励ましてほしかったのに！」と何度も言う言葉が出るなんて、本当に思ってもみず、驚きでした。泣いて抗議するのは、ほかの皆さんの前で、ちょっと格好悪くも思いましたが、なにか、とてもうれしい気持ちでもありました。「そうなんだー！」という感じ。

さらに、「自分は友達なのに、自殺を止められなかった。さらに別な友達が、無神論になっても、それも止められない。それが辛くて辛くて、苦しくて」と涙をこぼして苦しんでいる姿に、まっすぐでやさしく貴き心、イエスさまへのエミリの信仰の中での苦闘を垣間見た気がしました。これも、自分のことではなく、友達のこと、これだけ真剣に苦しんで、すごいなーと思いました。そのようなことをまったく知らなかったことを反省しました（ちなみに、後でわかりましたが、このことは、和紀子にも話してなかったようです）。

それと同時に、途中で妥協したり、ティーンの反応を恐れたりせず、2時間あまり、真剣にぶつかりあって良かったと思いました。上記のエミリの気持ちを知れたのは、真っ向からティーンに向かい、態度が悪いところは悪いとして、あるいは謝る場面でも、ちゃんと論理が納得できるところまで、筋を通して向き合ったからこそ、知ることが許された、ご褒美のような気がしました。もちろん、エミリの言う通り、僕が、追加情報をするタイミングをずらすとか、もっと気持ちを考えて行動できれば、それに越したことはありませんでしたが。

それにしても、思うことは、ティーンに関しても、リアクションを恐れず、親として、すべきことをした時の神さまの恵みの大きさです。ティーンは、子どもではないけど、大人ではなく、親の愛情も懲らしめも聖書にある矯正も必要です。それは「ティーンは別扱いに」と聖書に書かれていないとおりです。親がガチンコで、ぶつかることなく、あるいは深いコミュニケーションを試みることなくして出来ないし、子どもも、心のそれを待ち望んでいることをエミリとの2時間の攻防を経て、教えられたと思ったことです。

帰国後、エミリは、英語キャンプと、ボランティアのエッセイを書きました。そこで書かれたのは、「人生、最高の夏！」という文章でした。エミリはお世辞を言わないタイプだし、とてもうれしかったです。エミリのいいところは昔から、さっぱりしているところですが、それにしても、神さまのあわれみを思います。詳細は、チア・マガジン35号に掲載されていますが、このバスの出来事を踏まえて、もう



一度、読んでくだされば感謝です。また、教会学校のスタッフに加わったり、それからは僕が送り迎えしても、前のように嫌がらなくなりました(^\_^)。そして、今年の夏もボランティアに行きたいけど、いつ、正式決定するのか？と何度も聞いてきます。すごい感謝でした。

聖書のことばは真実。マジック年齢は無く、ティーンにも、ガチンコでぶつかった先に与えられた、恵みとあわれみではと思っています。

### 風物詩となった正月伝道

— 苦笑いして、ぷっと笑いつつも

12月30日、映画の仕事の関係で、日本に来ました。31日のミーティングが祝福され、元旦から4日間は、明治神宮前で、聖句プラカードでの伝道に参加させていただき、心から感謝でした。

正月伝道は、僕にとっては10周年かと思えます(ロサンゼルスローズパレード伝道を含む)。

年々、浸透し、いい意味で神さまが年末年始の風物詩とし、定着させ、福音を拡がりやすくしているな—と思いました。

聖句のプラカードと共に、福音を流れるスピーカーを持ちましたが、道を歩く人々のリアクションがとても良かったです。1人で通り過ぎる人や、ほかの話で熱心なグループは、聖句を読むために見上げる以外は、リアクションはほとんどありません。でも、友達やカップルで来てる人々の中では、苦笑いしつつメッセージを聞き、「フツ」と笑い、顔を見合わせて、その時、心に入ったことばを繰り返す人々がずいぶん、多かったです。

若いカップルは

「(スピーカー) 性的に淫らな者、ウソをつく者のために、罪の身代わりになり、…」

「(男性) え、オレのこと？」

「(女性) そう。あなたよ」

「(男性) え、そうなの？」

ほかのカップルや、20代の女の子同士等、同様のリアクション多数。

ティーンの女の子、3人

「(スピーカー) 罪を赦し、三日めによみがえり、…」

「え、よみがえったんだ？」

「そうだよー」

3人グループの1人の青年は、スピーカーを聞きながら、真摯に「そうです。そうです。その通りです」と言って、福音のフレーズごとに頭を下げ、ほかの2人に笑われながら、通り過ぎました。でも、そのティーンは、まじめだったと思いました。

初老の女性組3人は、少し苦笑いしながら、プラカードに掲げた聖句を読みました。「死後の行き先を考えよ(箴言14:12) だって、…」。顔を見合わせ、「そうねー、うーん」と苦笑い。ティーンの女の子たち。「死後って、どこに行くの?」「うーん。わかんない」

「(スピーカー) 永遠のいのちを与えるため、…」



正月伝道 — チャーチ&ホームスクーラー家族も大活躍!  
(明治神宮・原宿駅前)

「(ティーン男子) 永遠のいのち?」。以下、スピーカーのことばに応じて、「(ティーン女子) 良い知らせ?」「(ティーン女子) 神の裁き?」「(20代カップルの女性) キリストによっていやされるの?」「(ティーン女子) 救われるって?」「(30代カップル男性) 神に対する態度を改めるって?」「(20代男子) え、永遠の地獄の刑罰があるの?」「(20代男子) イエス・キリスト…」

「(ティーン女子) 渋谷でもやってたよね」「(ティーン女子) クリスマスの時もやってたよね。お昼休みを終えて、歩道橋を歩いていると、スピーカーを遠くから眺めた30代男性は、「あの人、ずーっと立ってるよ! えらいじゃん」。小学生の女の子は、お父さんに聞いていました。「どうして神さまは死んだ後、裁くの?」「(お父さん) 人殺ししたり、盗んだりしたらだめだよって、言うためなんだ」「ふーん」

時間帯にもよりますが、多くの人々が、苦笑い&顔を見合わせ、でも、心に入ったワンフレーズを元に、いい意味で福音が会話の種になっています。それは決して、ネガティブな反応ではないし、ポジティブに聞き耳立ててるという感じが多かったです。一瞬であっても、多くの人が、聖書に心向け、キリストの福音を考えるきっかけになっているのは確かだと思いました。

僕の足下には、「無料! ご自由にお取りください」と聖書が置かれています。時々、もらっていく人がいます。「僕、青学なんで、(聖書には関心があり)、…」「(あ、それ、中国語の聖書ですよ。日本語はそっちです、…、と言うと) 私はチャイニーズなんです。2冊、もらってもいいかね、…」。無言で走ってきて、顔を見せないようにして、ぱっと聖書を取り、小走りに去っていく若者も多かったです。恥ずかしいのかな。声かけられたくないのかな。



## 聖書のプレゼンス

このような伝道が全国10数カ所で行われ、東京では12月20日から、銀座や新宿ほか、数カ所で、伝道が行われています。伝道が、憲法に守られて、自由に展開できていることも、すごいことだとも思いました。しかし、ここに至るまでには、いくつか、その権利を啓蒙し、プレゼンスを構築するために、大事な場面がありました。以前、ポールさんから伺っていましたが、今回、息子さんのポールJr.さんや、ジャシュアさんから、別の角度からの詳細を聞きました。全ては書けませんが、その一部を分かち合いますね。

今から35年前、浅草で、まず、警察側から、路傍伝道を止めるよう圧力がかけられることが続きました。長男のポールJr.さんによると、父、ポール・ブローマンさんとしても、警察とは戦いたくなく、どう話すか、どう向き合うか、不安がいっぱい、かなり悩んでいたそうです。その年、警察に詰め寄せられた現場で、「お父さんが、どう警察に対応するか、しっかり見ていなさい」と、ポールJr.さんに伝え、囲まれた警察に、憲法に基づいて応じたそうです。「憲法に基づき、権利は保障されています。交通の妨げにならないよう、場所を少しずらすとか、協力はできるが、止めることはできないはず。言論の自由、基本的人権の保障、…。もし、必要あるなら、逮捕していただき、検察官、そして、裁判官の裁きを仰ぎましょう」と趣旨を伝えました。ポールさんは警察に連行されますが、その日の内に帰され、伝道は継続されることになりました。

1999年も、かなり対応が厳しくなり、2000年には、さらに激化しました。排除行動に出た警察に対し、そばにいた機動隊から、「そこまでやったら、憲法違反では？」と言う声が出たほどでした。この時は、事前に弁護士等にもいろいろと相談し、憲法等、法的な合法性も確認してあったため、一歩も引かず、論理的に話していく中で、結果として、その権利は、守られることとなりました。2001年以降は、僕自身も実際、体験することとなりましたが、憲法という土台の上に、互いに敬意を払いながら展開していく協力的な関係も与えられ、40年の歳月を数える「年末年始の風物詩」へと至ります。話を改めて聞きながら励まされ、HSLDA（ホームスクーリング法的擁護協会）の今は亡き、クリス・クリッカ弁護士のことばを思いました。「アメリカのホームスクーラーも、80年代、逮捕されたりした時には、憲法の基本的人権の自由の権利を根拠に、法的にも立ち上がったんだよ。Hiro、日本でも、そこを訴えていったらいいかもね」

今年、僕がスピーカー等を持っていると、若い警察官が、遠くから敬礼して、通り過ぎていきました。上記のように、苦笑いや吹き出しつつであっても、福音の情報を聞いたり、聖句を見たりする人がずいぶん、たくさんいて、時には、歩いて行く数百人の人々が、皆、ポジティブな意味で、聞き耳立てたり、

心を向けつつ、過ぎゆく瞬間とかあるのが、わかりません。年末年始で、少なくとも、1千万人以上の人々が、直接、聖書のことばを、目にしたり、耳にしたりしているわけです。これは、すごいことが許されていると改めて思いました。

## 神さまの導きの中での 震災ボランティア・ネクスト

12月30日の夜、日本のチア・オフィスに着いてTVをつけると、震災特集をやっていました。被災地で亡くなった家族のドキュメントでした。釜石とか、陸前高田とか、僕たちが何度も訪ねた場所のすぐ近くのルポでもあり、地図を追いながら涙して見ました。元旦には、去年、知り合った、南三陸や大船渡の被災者の方々から、電話をいただいたりもしました。まだ、神さまは、東北ボランティアで、もうひとがんばりするよう声をかけてくれているのかなーと思うようになりました。白馬以降、映画の方がすごく忙しく、すでに日米の3往復ともなり、震災ボランティアは、夏まではできないかなーとか思ったりしたので(ˉˉ;)。でも、それはそれで、やっていく必要と導きを思いました。まだ、次回の予定は固まっていないですが、第7回チア東北ボランティア、計画されると思います。どうぞ、神さまの導きのタイミングで、なすべきことができるように、お祈りください。

お陰で、去年は、恵みにあふれ、深い1年を過ごすことができました。本当にありがとうございました。文字通り、未熟で、至らないところが多いですが、今年も、神さまの声を聞き、その御名を呼びつつ、神さまに喜ばれるように、皆さんに仕え、ベストを尽くせればと思っています。

「神さまの知恵が与えられるように」求め続けること、そして、「神さまに信頼し、従っていくこと」を示されています。「わたしを呼び求めれば、わたしは、彼に答えよう」(詩篇91:15)と約束される神さま。「わたしは、あなたがたに悟りを与え、行くべき道を教えよう。わたしはあなたがたに目を留めて、助言を与えよう。…主に信頼する者には、恵みが、その人を取り囲む。」(詩篇32:8、10)

この全知全能の神さまのあわれみを求めて、歩み、少しでも、何か、皆さんの歩みに貢献できればと思っています。

どうぞ、今年もよろしく願います。

皆さんにとって、新年が、神さまの恵みに満ち満ちた1年でありますように！

稲葉 寛夫



2/3 関東ミニ学習会 新春・聖句掛け軸に挑戦！  
 チア・ にっぽん & チアHOPEバスケットスペシャル！

毎年好評の書き初め大会は「新春・聖句掛け軸に挑戦！」です。さらに、カーレースグランプリ東京大会、そして午後は、チアHOPEバスケット大会（がっつり練習『ドリブル、パス、シュート、フォーメーション練習』+ミニゲーム）ほかを予定です！ どなたでも大歓迎です。祝福をお祈りください。



日時：2月3日（金）  
 開場：午前10時 開始：午前10時半 終了予定：午後3：45  
 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京・代々木）  
 スケジュール：



- 10：30 「第6回 カーレース・グランプリ！大会」
- 10：50 書道「新春 聖句掛け軸に挑戦！」 講師：福治友輝先生
- 11：45 アップデート タイム（各家族の近況報告）
- 12：20 昼食
- 13：20 体育&セミナー（ストレッチ&バスケット）  
 「藤井一朗さんによるストレッチ体操」&  
 「チアHOPEバスケット・スペシャル！」

最初は藤井一朗さん（元九重部屋トレーナー）によるストレッチ体操等を30分ほど行い、約1時間半がバスケットスペシャルです。学生時代、バスケット部で活躍し、現在、チアHOPEコーチのホームスクーラー、辻奈央子さん、桐山壘さんらが、バスケットコチをしてくれます。  
 ☆ バスケット対象者は小学生以上の参加希望者。参加しない小学生や乳幼児の別途プログラムあり。  
 15：45 解散

参加対象：どなたでも大歓迎です。積極的にご参加ください！  
 持ち物：筆、すずり、墨汁、新聞紙（多めに）。体育館シューズ、運動できる服装。親御さんも一緒にどうぞ！  
 参加費：大人（中学生以上）700円+590円（食費）  
 小学生以下 500円+540円（4歳以上は要食費）

+掛け軸・用紙代	大800円	小600円
+バスケ活動費	200円	

※郵便振替、あるいは銀行振込にてお支払いください。  
 ■郵便振替 00190-3-35461 チア・にっぽん事務局  
 ■銀行振込 三菱東京UFJ銀行 赤羽駅前支店（普）1746716 ホームスクーリング・ビジョン（株）

2月3日（金）第14回 関東ミニ学習会  
 参加申込書 ⇒ FAX 03-6862-8648 メール：office@cheajapan.com

ふりがな 代表者ご氏名	（携帯） お電話						
ご住所（〒）							
参加費 大人（中学生以上）1290円 ×（ ）人 子ども（4歳以上）1040円 ×（ ）人 子ども（3歳以下）500円 ×（ ）人	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>■掛け軸・用紙</td> <td>800円×（ ）名</td> <td>600円×（ ）名</td> </tr> <tr> <td>■バスケットクラブ活動費</td> <td colspan="2">200円×（ ）名</td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">合計（ ）円</p>	■掛け軸・用紙	800円×（ ）名	600円×（ ）名	■バスケットクラブ活動費	200円×（ ）名	
■掛け軸・用紙	800円×（ ）名	600円×（ ）名					
■バスケットクラブ活動費	200円×（ ）名						
参加者ご氏名&性別&年齢							
ふりがな	男・女 歳	男・女 歳	男・女 歳				
ふりがな	男・女 歳	男・女 歳	男・女 歳				



## 第5回 (8/29-9/2)

## チア・東北サポート レポート1

A君 (14)

僕は今回、チアのボランティアに初参加させていただきました。ほかでは出来ない貴重な体験をいくつもさせて頂きましたが、その中でも特に印象に残っているのが、名取で二回目の支援物資配給をした時に一人のおじいちゃんがしてくれた、津波の話です。おじいちゃんは、津波が来た時の様子や、とっさに家の二階に避難して二、三日過ごしたことを話してくれました。

しかしその中で一番僕がショックを受けたのは、2m以上あった高さのことで、2日経っても引かなかった波のことでなく、「まさか本当に津波が来るとは思わないからねえ」というおじいちゃんの一言でした。それを聞いた瞬間、被災したのはかわいそうな特別な人たちではなく、自分と同じような人間なんだということをひどく実感し、とても悲しくなりました。それでも、その人たちの助けに自分がなれ、神さまの栄光を示すことができると思うと、とても嬉しくもなりました。

また、たくさんの喜びを味わえる、このボランティアに参加したいです。

\*\*\*\*\*

B君 (17)

東北へボランティアに行ったのは、今回が2回目でした。

1回目は4月の初めに、個人的に教会の兄弟たちと一緒に行ったのですが、実は1回目から帰ってきたとき、僕は「もう二度とボランティアになんか行



消毒・消臭用のバクテリア剤の散布作業 (仙台市若林区にて)

くものか!」と固く決意していたのです。

なぜかと言うと、まず僕の中に問題がありました。「何か自分に出来ることをさせてもらいたい」という思いではなく、「僕がやってやるぜえ!」という、かなり思い上がった考えを持ってボランティアに向かったのです。でも、結局大したことは何も出来ず、不完全燃焼という言葉がぴったりでした。しかも津波の生々しい破壊の跡を目の当たりにし、精神的に大きなショックを受けたまま帰途に着いたのです。家に帰ってからも、受けた衝撃はなかなか僕の中から消えていかず、しばらくの間、ドーンと落ち込んでいました。「二度と行きたくない」と僕が思ったのは、そういう背景があったからです。

だから、そんな僕がこの第5回チア・東北サポートに参加することが出来たのは、まさに「導かれた」としか言いようがありません。

ある人から勧められたことも大きかったですが、「もう一回行ってみよう」と僕が決意したのは7月頃です。不安はたくさんありました。「またショックを受けるんじゃないだろうか」とか、「アメリカのホームスクーラーも来るらしい。どうやってコミュニケーションを取ればいいんだろう」とか(特にこれは、英会話に苦手意識がある僕にとっては大問題です)。でもなによりも不安だったのは、「また同じ失敗(思い上がった心を持ったままボランティアに行く)を





繰り返してしまうのではないか」ということでした。

ですので、行く決断をしてから僕が祈ったのは、「僕の中から高慢な心を取り去ってください」ということです。「謙遜な心をください」と、とにかく毎日そう祈っていました。

そして、実際にボランティアに行った感想です。

まず、不謹慎かもしれませんが、予想外に楽しかったです。マイクロバスにぎゅうぎゅう詰めになって毎日長時間移動するわけで、僕はこの時間が一番退屈できついものになるだろうと思っていたのですが、なんだかんだ言って一番楽しかったです。

津波の被害にあった場所もたくさん見ましたが、今度は必要以上のショックを受けないように、神さまが守ってくださったように思います。

アメリカのホームスクーラーたちとも、何とかなりました。特に親しくなった（と僕が勝手に思っている）ダニエル君は、本当に優しい、いい奴です。おう、だにえる、あい・らいく・ゆー。

一番肝心な「謙遜な心で行けたかどうか」は、はっきり言ってよく分かりません。が、まあいいでしょう。

反省しているのは、あまり被災者の方々に話しかけられなかったことでしょうか。食料・物資の配給をしている時など、僕は結構手持ち無沙汰なことが多かったので、そういう時に、誰にでもいいからもう少し話しかけていたらよかったのにな、と今になって思います。

被災地で僕がどれだけのことを出来たのか、また、神さまがそこで僕に何を教えようとしていたのか、今はまだよく分かりません。分かっているのは、「神さまが僕を東北に導いてくださった」という、それだけです。でも、それが分かっているのだから、僕は被災地での思い出を、楽しかったこともつらかったことも、大切にしていこうと思います。



浸水した事務所の水ぶき作業、頼まれて！  
(仙台市若林区にて)

\*\*\*\*\*  
C君 (15)

今回、初めて5日間東北ボランティアに参加した。東北に行くとなんか家を掃除したり物を運んだり、いろんな手伝いがあり休む暇もなくいっぱい働かせてもらった。自分でもこんなに人のためにいっぱい働けてうれしいなと思った。

今回、東北ボランティアに行きいっぱい働き汗をかき、こんな貴重な体験ができてよかったと思いました。

\*\*\*\*\*  
Dさん (16)

第5回チア東北サポートに参加して

私は今回が3回目の参加でした。初めて父も参加することができました。父にとっては人生で最長の有給休暇だったそうです。そこまで犠牲を払ってまでも一緒に行ってくれて、私もとても嬉しかったです。

今回は、今までの反省を踏まえていくつか踏み出してみたことがありました。まずは被災者の方々のニーズを知ることが必要だと思ったので、物資配給の時に色々話を伺ったりとか、一人ひとりのつぶやきに耳を傾けてみたりしました。そうしたら思ったよりたくさんを知ることができて良かったです。まだまだたくさん必要があり、私には何もすることはできないけど、できるときに精一杯やろうと思いました。





仮設住宅で、「山の中だからスーパーもなく買い物にも行けないんだよ」とおっしゃっていた方がいました。きっと家も車も流されてしまったのでしょう。考えさせられた出来事でした。今までは、仮設住宅に住んでいるんだから感謝なことじゃないかと思って見ていましたが、その考えは180度変わりました。少しでも便利な生活になるように何かできないかなあと思いました。

私がリサーチした結果です。持っていった物で喜ばれていたものは、大人用オムツ、レインコート、野菜以外の食べ物では、お菓子、小麦粉、ホットケーキミックス、ドレッシング、マヨネーズ、醤油、味噌などです。また、これが欲しいと言われたものや、私が必要だなと思ったものはラップ（かなり必要があるようです）、ウェットティッシュ、ティッシュ、柔軟剤、洗剤、入浴剤、子供用のオムツを各サイズ（前回、もうすぐ生まれるから新生児用がほしいと言われました）、おしりふきなどです。

今回はアメリカからもホームスクーラーが来てくれて、一緒にボランティアに行きました。初めはティーンの英語が早すぎてついて行けませんでした。2日目くらいからだんだん理解できるようになって、3日目からは会話に加われるようになりました。それからはほとんど1日中英語でした!! チームUSAのみんなは私のゆっくりな英語に耐えてくれ、会話に入れてくれて、英語で意思疎通できる!!という自信を与えてくれました。今まであまりネイティブの人とも話したことがないし、ましてや英語で生活した経験など全くなかったので初めはすごく緊張していて、自分の英語が通じる自信がありませんでした。でもみんなが励ましてくれて、自分でも驚くほど英語が上達したと思います。多分、語彙力や会話力というよりも、自信がついたんだと思います。英語キャンプには行けなかったけど、神さまは絶対に恵みを与えてくださる方なんだなと思いました。

みんなと仲良くなれて、本当に行って良かったと思っています。Especially thank you for team USA! My English skill really improved during the trip! Thank you everyone! 今回一緒に行った全員に感謝したいです。もちろん神さまと家族にも。そして東北の方々にも心から感謝です。

\*\*\*\*\*  
Eさん (17)

第5回チア東北サポートに参加して

2日目。「ボランティアをするだけでなく、あなたが導いて下さった方に福音を伝えたいです。出会いとチャンスを与えて下さい」との祈りに神さまが応えて下さり、ある方に聖書を渡し、福音を伝えて祈ることもでき、とても嬉しかった。

5日目。ナタンさんから、被害にあった地域に、約1年前にトラクト配布をしたと聞いた。さらに

「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くても、しっかりやりなさい（第二テモテ4：2）」という聖書の言葉の通り、私たちはどんな時でもしっかりと福音を伝えていく必要があるよ」と教えられた。このことから、私たちが伝える福音は、聞く人にとっては最後になる可能性があるかもしれない。だから、神さまが与えて下さったチャンスを大切にしたいと実感した。

帰宅後、神さまに示されたことがあった。私の高慢さである。ボランティアよりも伝道の方が、価値があると思っていたことを示され、悔い改めた。伝道も大切だが、ボランティア活動を通して、神さまの愛が人々に伝わっていくと気付かされた。福音を伝えたか、伝えていないかではなく、その人を本当に愛したか、そうでないかを大切にしたい。愛しているから、ボランティア活動をし、神さまに導かれたら伝道もしてきたい。そして、伝道だけでなく、神さまから導かれていることにも、もっと忠実になりたい。神さまに導かれ、それに従って生きるなら、自分を含めた周りの方々の幸福につながるのだと思った。

たくさんのお話を学ばせてくれた神さまに、そして、一緒にボランティアをした友達に、この機会を与えて下さったチア・にっぽんの方々に、祈って送りだしてくれた教会のメンバーや家族に心から感謝します。本当にありがとうございました。

土のう袋は一袋、約25-30キロ! (仙台市若林区)







物資支援中、被災家屋の泥だし作業頼まれた！（仙台市若林区）

\*\*\*\*\*  
 F君（16）

今回僕は、3度目のボランティアとなった。

回数を重ねるごとに、この震災がいかにすごいものであったかということがわかってくる。震災から6ヶ月たったとはいえ、まだ街には瓦礫がたくさん残っているし、各家々には、泥が溜まりっぱなしである。また、家を流されてしまった人は仮設住宅に住めても、日用品はまったく足りていない。まだまだ支援が必要だ。

今回のボランティアでよかったことはアメリカチームや幾人かの人々が、被災者の人たちに聖書を渡してくれたことや、最終日に丸森伝道チームと共にトラクト配布をできたことだ。今回イエスさまのことを直接伝えられて、とてもよかった。今回したこと

を通して、東北の人たちが、今の状況に目を向けるのではなく、変わることがないイエスさまに目を向けてくれたらいいなと思った。

自分は、家から泥を出したり支援物資を配る手伝いくらいしかできないが、これからは機会があれば支援を続けていきたい。

\*\*\*\*\*  
 G君（14）

僕は、今回初めてボランティアに行きました。被災地を見たときは、とてもびっくりしました。テレビで見るのとまったく違いました。ボランティアでしたことは、物資の支給や家の掃除、土の片付けをしました。

物資の支給で思ったことは、まだまだ被災地の方が物資を求めていることでした。物資をもらったときの皆さんの喜びを感じました。配っていてとてもうれしかったです。

家の掃除や土の片付けでは、津波の恐ろしさを知りました。1人ではとても家の掃除や土の片付けはできないと思うので、役に立ててうれしかったです。

そして、最後の日にはトラクト配りでしたが、雨のため、僕たちのチームはあまりできませんでした。

この東北ボランティアに行って感じたことは、たくさんありました。しかし、一番思ったことは被災者の方々が1日も早く救われることです。

また、被災者のためにボランティアがしたいです。





被

災

地

か

ら

の

手

紙

「キリスト様からもらったの」(釜石市 Aさん)

3月11日……大きく揺れた直後、Bさんが来て、二人で山に向かいました。海の方を見ると、一回目の津波が沖の方へどんどん向かって引いていました。その引き潮で湾江(船の入口)が割れて一本の道が出来たように、瓦礫が一直線に進んで行くのが見えました。

その時、十戒(映画)で海に道が出来、モーセが助かったシーンを思い出しました。ミッションスクール時代以降、忘れていた聖書を思い出しました。引き潮が湾江まで届かない内に二回目の大きな大きな、かぶるような津波が湾江の向こうに見えたと思ったら、あっという間に白波を立てながら荒れくるうように浜町の家々を飲みこんで行きました。見ていた二人はワーワーと悲鳴をあげていました。

我が家が心配で山からおりました。水の引くのも早く、驚くような残骸を残して去って行きました。家の門をあけると、階段の三段まで濡れて、二人でようやく持てるくらいの水かめが横になっていました。

表通りにつながる三本の道は、家そのままの形で何軒も流れつき、車は30台以上重なりあって、沢山の瓦礫ですっかりふさがっていました。これからどうなるのだろうと思いました。

ライフラインが全部ストップしてしまい、その晩からはとても寒く、ヒーターをつけっぱなしで三日間、車に寝ました。地震から二日目、おにぎり二人で一個、三日目、おにぎり二個、バナナ一本、消防の人たちが山道を背負って食べ物を運んでくれました。

釜石湾の海が割れたことは、誰も見ていないことでした。一ヶ月過ぎた頃、二本松丸(津波の時、沖に船を出した)のおじさんに会い、引き潮の時の不思議な現象を話したら、湾江の真ん中に巨大なうずが巻いて自分の船も何回も吸い込まれそうになったという話を聞いて、やっぱり事実だったと解決しました。

その後、何度も何度も大きな余震がこわかったです。最近、浜町の皆様はすっかりあかぬけて、会うと、「これいいでしょ。キリスト様からもらったの」「とっても似合うよ」と言うと、にっこり笑って行きます。

(※チア東北サポートに参加した立嶋れい子さん経由で届いた手紙の抜粋です)

心まで暖かく(陸前高田市 Cさん)

先日はとても暖かい贈り物、ありがとうございます。氣遣いに心まで暖かくなりました。

送って頂いた本(チア・マガジン)、何度も何度も読みました。また読みたくなる本です。本当にありがとうございました。

## 白馬セミナー2011 アンケート Part1

## &lt;大人アンケート&gt;

・もはや毎年欠かせないセミナーになっています。自己のリバイバル・リカバリーの必要性を覚え、神様への渇きを感じることができようにしてくれるセミナーです。企画・実行、ありがとうございました。盛りだくさんで各セッションとも主から与えられた情熱で語られ、時間が足りないようでした。(神奈川 藤本泰俊)

・いつも感じることでありますが神様の御臨在を強く感じることができ、ここに来ただけでとても癒されます。それはきっと白馬に集われている方々、1人1人に宿っている聖霊さまの力が強く現されているのだと思いました。普段なかなか分かち合えないことをいろいろと分かち合えて良かったです。皆様から励みや知恵を頂くことができ心から感謝しています。ありがとうございました。

素晴らしいです。特に震災後の大変な中、企画を準備して下さいありがとうございました。また、明泉の方々には、チルミニのために遠くから来てくださり特別に感謝を申し上げます。子ども達を安心しておまかせすることが出来ました。(東京 ビショップ 淳子)

・夫として、父親として、エリザベスさんから大きなヒント(アドバイス・励まし)を頂きました!! 稲葉さんの熱いメッセージに感動しました。ありがとうございました。

エリザベスさん(すべて)、Grape SEED、ピリポ先生の分科会、ピリポ先生の基調講演など聞けたすべてのセッションが良かったです。(北海道 高橋信也・静子)

・大好きなチアのキャンプやコンベンションに参加するのを、いつも楽しみにしているのですが、今年の白馬キャンプは都合がつかなく行けないかもしれない...と思っていたところ、母と2人で来ることができたので、なおのこと嬉しくて嬉しくて、一時一時、一瞬一瞬が嬉しく、神様に感謝でございます!! そして稲葉さん、チアのスタッフの方々、丸森の皆さん、ありがとう! ありがとう!

いろいろなトピック・テーマの分科会があったです。今年も分科会の中でこれもあれも聞きに行きたいと思って、各分科会の前はかなり迷いました。行けなかったのは、あとでCDで聞きます...。(長野県 樋田恵子)

・HSを始めてから初めての白馬だった私にとって、エリザベスさんの話は、具体的、実践的で示唆に富んでおり、派手さはなくとも、肝にずっと残る確信を突いたものでした。主にすべてを抛り頼んで導い



森山ファミリー 賛美  
中央は白血病を克服した満音君

ていただくこと、一貫性と責任感をもってHSに日々取り組むこと、何よりHSは主が始められた霊的ムーブメントであることを語ってくださり、いつのまにか効果的な日々の生活や学習にばかり気をとられていた自分に気付きました。すぐに高ぶり、自分に頼ろうとしてしまいましたが、メッセージの最後に引いてくださった、「主はその御目をもって、あまねく全地を見渡し、その心をご自分と全く一つになっている人々に御力をあらわしてくださるのです。」(第二歴代史 16:9)という御言葉を日々覚えて行きたいと思いました。(東京 伊澤恵美)

・自然の中、貸し切り状態で使用できるホテルは気持ちいい! スタッフの皆さまのお働き、感謝でした。そして主に感謝いたします。

HSを始めて1ヶ月半、不安もあろう両親にも知って欲しく、見て、聞いて、感じてもらうために、共に参加できたことも喜びです。これから、我が家にとって、聖書に従っていくスタートです。チアが存在が、ホームスクール家族にとって、とても必要です。ありがとうございました。(匿名希望)

・今回初めての参加でしたが、ゆったりできて、すごく良かったです。スケジュールも盛りだくさんで充実しているのに、あわただしくなく、落ち着いて進行されていて、準備や当日のいろいろなことでとても大変だと思うのに、いつもにこやかに対応して下さって、すごーくうれしかったです。ありがとうございました。特に桑谷さん、(能登)麻里さんの笑顔にやされました。

チルミニのケア(特に1歳の子を見ていただけたこと)は本当に感謝でした。おかげさまで、しっかり講演を聞くことができました。7歳の娘もいろいろな活動に大喜びでした。エリザベスさんのお話は、



どれも原点に帰らされました。今の私に必要な内容でした。来年は家族全員で参加したいなと思いました。(匿名希望)

・初めてひとりで参加しました。同室の方々に恵まれ、毎朝お祈りして共にスタートしました。神様漬けの貴重な3日間、感謝。エリザベス・スミスさんのお話をほとんど聞きました。豊富な内容に経験の深さ、神様の強いお守りがあることを思われます。絵画コンクールの参加チャンスもありありがとうございます。賞品もいただき、感謝。また、本をお安くいただき、感謝。これからもお働きが祝福されますように、祈ります。(岩手 さとう直子)

・参加の難しかった、全員での参加が許されて感謝です。悔い改め、主に立ち返り、主とつながって歩みを始めたいと教えられました。準備や運営をくださったスタッフや講師、お手伝いのLTメンバー、ありがとうございました。とても励まされ、教えられました。(匿名希望)

・セミナー前は、夫婦げんかばかりでしたが、エリザベスさんの話を聞いて、お互いにごめんなさいと言いました。自分の両親はノンクリスチャンで、夫に従う妻の姿を見たことがなく、想像するばかりで、なかなかどうということか、まだ分かっていませんが、とにかくtryしてみようと思います。まずは夫を尊敬するところから…。結構難しそう…。祈って心を変えていただけますように…。

素敵なホテル、大変おいしい食事、快適なお布団、とてもありがたく感謝でした。お水もおいしかったです。とても遠かったけど、頑張ってきてよかったです。肉の糧もいただきました。ゆっくり休めました。いろいろな本をdiscount価格でありありがとうございます。帰りの荷物がかかなり重くなってしまいましたが、大切に読ませて頂くのが、とても楽しみです。(匿名希望)

・チア立ち上げ以来のおつき合いです。今回の参加者に、初めての方が多く来られたことや、チルミニの奉仕をして下さっている丸森チームの方々の顔ぶれなどを通して、チアにっぼんが次の時代を迎え、新しく展開していることを思いました。

これまでのセミナーで多くの講師の方が語られてきたことも思いおこしながら、HSしていることの正しさの裏付けを改めて頂きました。

エリザベスさんのセッションの中で(リバイバルとHSとの関係のところ)、満音の入院中に体験して感じたことを思い出しました。彼の病気の時もHSの中にあっても、私達は台風の目の中にあることを思います。四方に御使いが立って、吹

きつける風をふせいでくれていると思います。(愛知 森山有佳子)

・やはり犠牲を払って来る価値があったと心から感謝しています。また、私の意志以上に神様が私にここに来るように願われて、そして責任をもって、3日間導いてくださったんだとわかります。毎回来るたびに思うのですが、ここはHSについての学びだけにはとどまらず、むしろ、私にとっては神様との関係がより深く取り上げられて大きな祝福をいただくことができている。いろいろな方の神様との関係においての証をお聞きしているとき、神様ご自身のことがうれしくてうれしくてしかたありませんでした。

エリザベスさんの講演、本当によかったです。神様との関係について、本当に基本的なことが語られているのを聞きましたが、今の私に本当に用意されてなされた講演会だったと思います。語られる神様についての一つ一つのことが本当に心にしみて心に落ちていく感じで、ただ神様のことがうれしかったです。その他の分科会でも、決して格好のよいだけでない、問題も弱さもある方々がそれを本当にヘリクダって正直に分かち合ってくださいました。その現実で真実な生きた証を聞くことができたのは私にとってもものすごく大きな励ましになりました。

いつも本当にありがとうございます。白馬セミナー、本当にお疲れ様でした。(長野 長瀬真理子)

・コンベンション・キャンプが中止された1年ぶりの大きな集まりだったので、チアFamilyに会えたことが何よりもの励ましでした。皆、それぞれの場所でのHSが祝われて、ここに至ったのだなと思えました。丸森の皆さんに会えたのも嬉しかったです。夫婦で参加が叶ったので、互いに分かち合うこともできました。

エリザベスさんが、家庭、仕事、教会の3つのバランスを語ってくださった部分で、多くの気づきが



チルミニ & LT 賛美



ありました。

絵のコンクールも応募数が増えてよかったですね。子ども達にとっても励みになりました。

今回は分科会をさせて頂くという貴重な体験をさせて頂きましたが、予想を上回り多くの方が来られたことに励ましを受けました。赤裸々に語らせて頂きましたが、「もっと聞きたかった」と言って頂き、(チアの意図もあると思いますが…)、是非機会があれば、又、よろしく願います。(神奈川 辻寿・奈央子)

・初めての参加ですが、こんなに大勢の方が参加され運営にも大変ご苦労があったことと敬意を表します。大変良く運営されたことと存じます。最高でした。講師の方といい、スタッフの方といい、最高でした。ありがとうございました。講演は判りやすく良かったと思いました。(匿名希望)

・4年ぶりの参加で原点を思い出す有意義なひとときでした。白馬の雄大な景色も含めて、神様の大きな愛を感じる3日間でした。感謝します。(神奈川 梶山志津)

・久しぶりの参加でリフレッシュされました。(神奈川 梶山直樹)

・ゆっくりできました。感謝します。家族で来て良かったです！子ども達も友達ができて楽しんでいました。スタッフの方々、チルミニの方々ありがとうございました。(東京 小坂直人・りか)

・ホームスクーリングを始めるにあたり準備する事柄、課題、備えがよくわかりました。時間のペースがゆとりがあって大変良かった。スタッフの皆さま、ありがとうございました。来年も参加したいです。(兵庫 西田満晴)

・私は今回で2回目の参加ですが、洗礼を受けていない主人も今回はじめて一緒に参加でき、本当に感謝でした。とても気持ちよく過ごさせていただき、心から感謝したい気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

また、改めて心がもやされました。今日からまた、あらたな気持ちでHSを始められそうです。感謝です。HSをする日々が続くと、いつの間にか惰性でしているような時があるなか、このような励ましや用意されることは、心強く、また、続けていく力になると実感しました。今後も期待しています。(大阪 大城百合)

・本当にありがとうございました!! staffの皆さまに感謝感謝です。たくさん励ましとチャレンジをいただきました。神様が豊かに報いて、staffの皆さまを祝福してくださいますように。みことばがストレ



100種類のバイキング

ートに心に入ってきて打たれました。悔い改めるばかりです。主を見上げ頼り、再出発したいです。(匿名希望)

#### <子どもアンケート>

・とっても楽しかったです！一番うれしかったのは、一年ぶりに文通友達に会えたことです。他にもゲームやミサンガ、クッキー作りも楽しかったです！お風呂とピュッフェも最高でした!!

雪がふったら雪兎と雪だるまが作りたい!! そりもしたいなあ…。LITにも入りたいです!! (辻アンナ 11歳)

・楽しかったです。グランプリカーでデザイン賞をもらったのが一番楽しかったです。友達とあそんで楽しかったです。(辻創 9歳)

・今回私はLITで0~3歳児のお世話をしました。とてもかわいかったのですが、急に喧嘩を始めたり、泣き始めたりして大変なところもありました。なので、子育ては容易なものではないと改めて思いました。

私は小6まで公立の学校に通っていたのでHSをしている子どもたちの姿を見ると、毎回驚きます。小さい時からHSすることがどれほど大切で祝福が大きいかと思います。早く多くの方がこの神様の戒めを行ってほしいと思いました。

参加できたことを感謝します。(山口実歩 16歳)

・そりですべったり、まくらファイトで何回か勝てたりして楽しかったです。(伊澤響子 10歳)

・すっごく楽しかった!! 運動会も最高!! 来年はもっといろいろな子と遊びたいです!! これからも頑張ってください!! (森山佳音 12歳)



いなちゃんの

## お薦め映画ライブラリー

先月までの64作品の詳細はwww.cheajapan.com 映画ライブラリーコーナーへ

在庫切れ作品を確保でき、再掲載です！

発売元のユニバーサル社によると、この後、再版予定無しとのことです。1800円→1500円とお得です。

「黄昏」

1981年度（第54回）アカデミー賞主要3部門受賞。

家族の愛と悲しみを円熟の演技でみせた永遠の感動作！



初夏のニューイングランド地方。「ゴールデン・ポンド」と呼ばれる湖のほとりに、サイヤー一家の別荘があった。引退した大学教授ノーマン（ヘンリー・フォンダ）

と妻エセル（キャサリン・ヘップバーン）が、今年も夏をこの別荘で過ごそうとやってきた。もうすぐ80歳をむかえるノーマンは心臓が悪く、物忘れもひどくなっており、死への恐怖は増すばかりであったが、エセルはおだやかな愛情をもってノーマンを支えていた。ある日、彼らの1人娘チェルシー（ジェーン・フォンダ）から手紙が届く。

父ノーマンの誕生日を祝いにこの別荘に来るといふ知らせだった。チェルシーは離婚経験がある。13歳になるピリー（ダブ・マッケオン）という息子がいるボーイフレンドの歯科医ビル（ダブニー・コールマン）を伴ってやってきたチェルシーは、母エセルには心から接することができるが、父ノーマンとは相変わらずかみ合わない。さらに悪いことには、ノーマンはビルにまで皮肉を言い、激しい感情のぶつかり合いを展開する。やがて、チェルシーがピリーを置いてビルと共にヨーロッパへと旅立った。1人残されたピリーは、しかし、だんだんとノーマンになついていき、2人はウォルターと呼ばれる魚を探しに岩だらけの入江へと釣りに出かけた。夕暮れになっても戻らない2人を心配するエセル。彼女の心配をよそに、2人はその後も釣りに熱中し入江を訪れた。一方、ブリュッセルでビルとの結婚式を済ませて帰ってきたチェルシーは、母エセルに父ノーマンの気持ちがわからないと告げ、逆に「あなたは彼の愛情深い人柄がまだわからないの」と責められる。ウォルターを釣って意気揚々と帰ってきたノーマンに、チェルシーは初めて素直な気持ちで口を開いた。「普通の父と娘のような関係になりたい。パパと仲良くなりたい」と…。

「怪盗グルーの月泥棒」も廉価版登場！（3,360円→1,500円）

幼な子の純粋な祈りと心は、意地悪な悪人の心を変える！

大人も楽しめるハートウォーミングアニメ作品

ムービーガイド賞受賞、アカデミー賞、

ゴールデングローブ賞最優秀作品賞ノミネート作品



郊外の秘密基地で暮らす怪盗軍団ミニオンのリーダー・グルーは、盗みや意地悪をすることが大好きな皮肉屋。世界一の悪党を目指す彼が狙う盗みのターゲットは、何と『月』でした。グルーは、秘密兵器「縮小ビーム銃」を手に入れますが、ライバル怪盗・

ベクターに盗まれます。グルーはベクター家に出入りする三姉妹を利用し、銃を奪回しようとしています。ところが、何故かその三姉妹になつかれてしまい、心が変わっていきます。原題は、「Despicable Me」でどうしようもない自分、最低の自分、こんなだめな自分なんだけど、、、といったタイトルです。悪をしていますが、悔いる心へのうずきもあり、でも、悪を重ねていく、そんな自分に純粋になついてくる少女たちと、その背後の祈りに、『悪人』の心は動かされていきます。ほのぼのとした展開の中で、自分の心や、他者への姿勢のあり方が正され、いやされていく、良い作品と気付いていきました。それが、「大人が観て、励まされるアニメーション」として、興行成績が伸びていった理由なのでしょう。家族で観て、楽しみ、話し合う作品としてもお薦めです。廉価版登場で再掲載です。



# 試写会 受付中!

「ファイアー・ストーム」「フェイスング・ザ・ジャイアント」に並行して、「アメイジング・グレイス」の「無料試写会&DVD販売会」の扉開かれています! 好評受付中!!

教会等でDVD等を見せるのは、違法だったんだー、近年、その認識が拡がり、感謝だと思いました。その意味で、今、3本の作品の無料試写会+DVD販売会が合法的に許可されていることは、とても恵みだと思います。このテーマについて、時々ですが、以下のようなやり取りがあります。教会と著作権法を理解する上で、わかりやすいと思いますので、ご紹介しますね。

>教会であっても、本来、許可なくDVDを見せることは、法的に認められていないこともお伝えし  
>ましたが、「教会の役員会では、『違法なのかな...』とおっしゃりつつも、『そのままやってもいいんじゃないか』と言われてしまうのですが...」と

(チア) : 明確に「違法行為です」と伝えてくれればと思います。著作権法の違反です。アメリカだと、DVDの最初の画面にFBIとか出てきて、違反すると約3000万円以上の罰金と出てきます。

家で友達と見るのはOKですが、教会など公の場で許可なしの上映は明白な違法行為です。家の教会とか家庭集會とかグレーゾーンはあるものの、基本的に、個人の利用以外は違法行為とされています。そこで、神さまに祝福されるように、正式に、しかも、料金をあまりかけずにできるようにとチアで働きかけて開かれた方法が、試写会+DVD販売会という方法です。許可をもらって上映会という方法もありますが、普通は有料で、たとえば、上映費用が5万円とか、人数によっては、30万円とか、いろいろとあります。図書館とか、行政主催の映画会等を専門にした業者もあり、そのようなビジネスも成り立っているのです。そこは映画会社にとっても収入源であり、センシティブです。それ故、最初、実績の無い段階では、扉は容易に開かれませんでした。でも今は、このような形で開かれてきていて、すごい奇蹟と祝福と思っています。それで、せっかくの機会なので、ぜひ、積極的に、このチャンスを生かしてくださいね、と願っています。

「ファイアー・ストーム」「フェイスング・ザ・ジャイアント」「アメイジング・グレイス」については、チア・にっぽんが正式な窓口となって、ソニー・ピクチャーズ社、ハピネットに申請する道が開かれました。まずは資料をご請求ください。詳細・問い合わせはチア・にっぽんまで (Eメール: kuwatani@cheajapan.com FAX03-6862-8648)。申し込み詳細は、HPでもチェックできます。www.cheajapan.com。お申し込みをお待ちしています!

\*「アメイジング・グレイス」はまだ、映画館で有料上映中の地域がありますので、スケジュール調整が必要な場合もあります。でも、積極的に申し込み&トライください。

## <開催者の声 「アメイジング・グレイス」>

お祈り本当にありがとうございました。無事に上映会が終了しました。ちょうど30名くらいの方がいらして下さり、久しぶりの方、新来会者の方も与えられて、感謝でした。

最初から最後まで皆様、かぶりつきでかなり真剣に観てくださって、「とても良かった、感動した」との事で、大好評でした。私達以外のセルの方からも、「これ観たかったんだ」「私も来たいくらい」など反応がかなりあったので、今後もぜひ宣伝してみようと思います。若い方にも、観てもらいたいですよね。

今日は私は上映係という事で、ずっと映画を観させてもらいました。確かに内容が深いので、2度目だったけど全然飽きずに、また感動してしまいました。





## 試写会 「ファイアー・ストーム」「フェイスング」「アメイジング」

# 感動の声、続々！ 開催してみませんか？

(無料！少人数OK！) お申込みはチャまで！

### <今後の予定>

「アメイジング・グレイス」

■1月29日(日) 熊本 有明バイブルチャーチ TEL 0968-62-5870

### <開催いただいた教会・団体>

「ファイアー・ストーム」

- 仙台 チア・サマーキャンプ
- 長野 チア・白馬セミナー
- 千葉 おゆみ野教会
- 東京 久我山キリスト教会
- 東京 福生ベテル教会
- 東京 日野キリスト教会
- 埼玉 ベテル・バプテスト教会
- 静岡 第45回教役者大会(ヤマハリゾート)
- 東京 武蔵野EFC教会
- 静岡 キャンパス・クルセード(ヤマハリゾート)
- 東京 クロスロード・インターナショナル葛西教会
- 滋賀 ジーザス・ハウス守山教会
- 埼玉 ANRCセミナー(ヘリテージ・リゾート)
- 札幌 ICF教会
- 石川 小松ベタニヤ福音教会
- 滋賀 東近江キリスト福音教会
- 静岡 VIP浜松
- 愛知 名古屋グロリアスチャペル
- 茨城 水戸第一聖書バプテスト教会
- 岡山 西大寺キリスト教会
- 北海道 札幌キリスト福音館
- 北海道 札幌キリスト福音館栗沢チャペル
- 千葉 千葉グレイスチャーチ
- 神奈川 横須賀キリスト教会
- チア・コンベンション(関西・東京)
- 岐阜 海津キリスト教会
- 神奈川 青葉台ナザレン教会
- 東京 東京ライトハウスチャーチ
- 大阪 阿倍野キリスト集会
- フォースクエア教団(年次総会)
- 愛知 名古屋グロリアスチャペル(2回目)
- 熊本 有明バイブルチャーチ
- 大阪 JECヒルズチャーチ
- 岐阜 海津キリスト教会(2回目)
- 埼玉 JEA心のオアシスリトリート
- 埼玉 KFG志木キリスト教会
- 神奈川 City Vision Glory Church
- 福井 敦賀自由キリスト教会
- 東京 東京シティチャーチ
- 静岡 インマヌエル総合伝道団浜松キリスト教会
- 東京 インマヌエル中目黒教会
- 東京 シオン・キリスト教団 蒲田教会

- 宮城 仙台福音自由教会
- 埼玉 Shalome Community Church
- 福岡 博多ニューライフ教会
- 岩手 RIM キャンプ
- 北海道 芽室キリスト教会
- 大阪 大阪クリスチャンセンター
- 福井 敦賀自由キリスト教会
- 宮城 仙台福音自由教会(2回目)
- 群馬 桐生キリスト教会
- 兵庫 神戸中央教会
- 東京 太平洋放送協会
- 千葉 主イエス・キリスト千葉教会
- 東京 久我山キリスト教会
- 東京 調布バプテスト・テンプル
- 兵庫 広畑キリスト教会
- 兵庫 神戸西バプテスト教会
- 北海道 中札内初穂キリスト教会
- 大阪 寝屋川キリスト教会
- 神奈川 藤沢オリーブチャペル
- 兵庫 御影神愛キリスト教会
- 兵庫 伊丹聖書教会
- 山形 米沢興譲教会

「フェイスング・ザ・ジャイアント」

- 仙台 チア・サマーキャンプ
- 神奈川 Living Water Church
- 東京 日野キリスト教会
- 埼玉 ANRCセミナー(ヘリテージ・リゾート)
- FCMF(自由クリスチャン伝道団)
- 千葉 市原シャローム教会
- 青森 弘前キリスト集会
- 大阪 JECヒルズチャーチ
- 埼玉 KFG志木キリスト教会
- 神奈川 藤沢オリーブチャペル
- 静岡 インマヌエル総合伝道団浜松キリスト教会
- 東京 調布バプテスト・テンプル

「アメイジング・グレイス」

- 長野 白馬セミナー
- 大阪 JECヒルズチャーチ
- 神奈川 主都福音キリスト教会
- 千葉 おゆみ野キリスト教会



## ♪ ボイス&メール ♪ Voice & Mail

昨年10月8日(土)、正午ちょっと過ぎに女子(2970グラム)が生まれました。前日の晩、陣痛が来る前に破水したので、そのまま入院となりました。母子ともに健康です。お祈りください。

日本語名：野乃花 (Nonoka)

(宮城 ダニエル&証・ファンガー)



昨年11月6日に、我が家の二番目の長男、望が洗礼を受けました。感謝です。

毎日毎日、共に生活し、祈り合ったり、御言葉を分かち合ったり、霊肉ともに成長していくのを見守ることができ、神さまからの語りかけに、はっきりと応答する瞬間に立ち会うことができたことは、本当にホームスクーリングの恵みだなあと感謝でした。(長野 小畑英基・由美)



ハレルヤ！ いつもありがとうございます。娘が白馬セミナーでの読書感想文(「いばらの生け垣」を読んで)において、準チア・にっぽん賞に入賞した話を、教会の牧師夫人にしたら、是非読みたいということで貸したところ、口コミで話題となり、買いたいという方がおられましたので注文します。(Aさん)

ニュースレター、ありがとうございます。全日制ホームスクーリングから週末ホームスクーリングになってしまった私は、後ろめたさを感じていましたが、以前のNLの記事に励まされ、細々と続けています。(Bさん)

昨日DVDのご注文をいただいた方が、先日、教会で行われた「アメイジング・グレイス」の試写会の感動を分かち合ってくださいました。

本当に素晴らしい試写会で、ご自分がお誘いした職場の未信者のおばあちゃん(80才)が、半信半疑でいらしたそうですが、大変感動されて、「かたい椅子であることも忘れ、まばたきするのももったいないくらいだった!! すばらしかった!」とのコメントを残して下さいました。(能登麻里スタッフ)



DVD「アメイジング・グレイス」

定価3,990円

チア特価3,490円!

試写会会場では、さらにディスカウントで3,290円で販売!!

(C) 2006 BRISTOL BAY PRODUCTIONS LLC. ALL RIGHTS RESERVED.

●「聖書が教える親と子のコミュニケーション」の再版、この日を心待ちにしていました!(再版のご検討くださった皆様に本当に感謝しています。神さまの祝福が豊かにありますように。

これからも、チアの働きのため、お祈りし続けてまいりたいと思います。ああ、待っていて良かった!(=嬉しい)(Cさん)

●待ちに待った「聖書が教える親と子のコミュニケーション」の再版を嬉しく思っています。是非とも、購入したいと考えております。友人でも欲しいと言っていた人もいたので、今回の再版は大変喜ぶと思います。(Dさん)

今、2002年のチアマガジンを読んでいます。当時はまだ聖書の教科書シリーズも全部は出版されていない頃で、今がどれだけ恵まれているかを思い知らされました。

この当時からホームスクールされてる方々が今、LITにお子さんを送りだされてるのだろうな、と感動します。バックナンバーからも、本当に学ぶことが多く、感謝です。(Eさん)



## チア・にっぽんカレンダー

- チア・フットサル (CSS主催)  
毎週月曜 10:00-12:00  
参加費無料  
◆新宿子ども総合センター (新宿ここ・から広場)  
◆連絡先:チア・サポートスクール TEL 03-5300-0820
- チアにっぽん関東ミニ学習会 (予定)  
2月3日 (金) 10時30分～15時30分  
7月2日 (月) 10時30分～15時30分  
◆国立オリンピック記念青少年総合センター  
(代々木 小田急線参宮橋駅7分)
- チア・コンベンション  
関西会場 5月25日 (金) -26日 (土)  
東京会場 6月1日 (金) -2日 (土)
- チア・白馬セミナー (予定)  
11月22日 (木) -24日 (土)  
◆ホテル・グリーンプラザ白馬 (長野)

医療法人社団  
**マリヤ・クリニック**

内科・小児科

〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台6-19-19 Myビル  
Tel: (043)287-2624 Fax: (043)287-2610  
URL: <http://mariyaclinic.com/>  
メール: [info@mariyaclinic.com](mailto:info@mariyaclinic.com)

携帯サイトQRコード

柏崎良子院長著  
低血糖症と精神疾患治療の手引  
第3版販売中  
問い合わせ: 株式会社ヨーゼフ




株式会社 **ヨーゼフ**  
一般社団法人 **低血糖症治療の会**

低血糖症治療体験集販売中

日本で初めて低血糖症治療患者の体験記を  
まとめた一冊です。

編集: 一般社団法人低血糖症治療の会  
販売: 株式会社ヨーゼフ

Tel: (043)207-6035  
FAX: (043)207-6036  
メール: [info@yozepp.com](mailto:info@yozepp.com)  
URL: <http://yozepp.com>



10月会計	
収入	
献金	975,000
書籍・教科書	82,653
会費	90,000
DVD/CD、ビデオ等	94,195
広告費	188,000
その他	75,830
	1,505,678
支出	
事務局経費	973,385
通信運搬費	54,592
交通費	49,840
印刷費	440,471
出版プロジェクト	14,935
DVD仕入れ費	17,887
	1,551,110
残高	-45,432
前期繰越	-83,866
翌期繰越	-129,298

11月会計	
収入	
献金	1,413,421
書籍・教科書	748,130
会費	154,000
DVD/CD、ビデオ等	171,861
広告費	852,997
その他	594,805
	3,935,214
支出	
事務局経費	1,341,289
通信運搬費	81,505
交通費	41,730
印刷費	1,179,675
出版プロジェクト	874,020
DVD仕入れ費	276,256
	3,794,475
残高	140,739
前期繰越	-129,298
翌期繰越	11,441

【義捐金】(1月10日現在) 3,410,788円  
残金 910,159円

☆尊い献金、会費、義捐金の送金を、  
心から感謝いたします。



**チア・にっぽん事務局**  
〒189-0013 東京都東村山市栄町1-5-4-103  
TEL 042-318-1807  
メール対応FAX 03-6862-8648  
メール [office@cheajapan.com](mailto:office@cheajapan.com)  
[www.cheajapan.com](http://www.cheajapan.com)